

## 令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・身近なニュースを取り上げたり、施設見学などの体験学習を行ったりすることは、児童の興味につながることであり、知識としても残りやすい傾向があった。地域との連携を今後も続けていくことが大切である。

#### (2) 課題

- ・資料やグラフから事実を読み取ることは、おおむねできるが、そこから根拠をもって意味を考えることなどには、課題がある。事象を比べたり、関連付けたりして考えること、話し合うことを普段の授業で取り上げることが大切である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市の様子」「暮らしの移り変わり」では、目標値を大きく下回った。地図や資料を読み取って考察する力を身に付けさせる必要がある。</li> <li>・記述式の問題の未回答が多い。資料等を分析し、説明する力を育む必要がある。</li> </ul>		
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文が短く、情報量が少ない資料だと、正答率が高い傾向がある。そのため、様々な種類の資料の読み取りを活用した授業が必要である。</li> <li>・「都道府県の様子」では、八方位や地形の読み取りに課題があった。継続して地図活用を授業内に取り入れることが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率は、目標値を下回った。</li> <li>・「生産や販売」では、目標値を上回っていることから、工場見学などの実際に見て学ぶ活動が力になっている。</li> <li>・「市の様子移り変わり」では、目標値を下回った。地図記号の習得や地図を読み取る力が必要である。</li> </ul>	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料電池車、地産地消などの言葉の意味理解に課題があった。教科書にある言葉の確認を必ず行う必要がある。一方、北方領土については書くことができてい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率は目標値を下回った。</li> <li>・思考問題が、目標値を大きく下回っていることから、資料を読み取ったり、そこから何が考えら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率は、目標値を0.4ポイント下回った。</li> <li>・「学校のまわりの様子」では、目標値を大きく下回った。このことから、地図記号の習得や資料の</li> </ul>

る。ニュースなどで話題にあがっていることが影響していると考えられる。	れるかということを受業で習慣的に実践する必要がある。	読み取りなどの力が必要である。
------------------------------------	----------------------------	-----------------

## (2) 分析 (観点別)

### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図記号の意味を理解し、地図やグラフなどの資料を正確に読み取る力を身に付けさせる必要がある。	知識及び技能を根拠にして考察するとともに、考えたことを表現する力を身に付けさせる必要がある。	問題解決の手掛かりをつかませ、あきらめずに問題解決型の学習をすすめるよう指導していく必要がある。

### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識の定着をはかるため学校での学習とともに、家庭での学習習慣を身に付けさせる必要がある。	自分の考えをもち、書く力を身に付けることを習慣化し、他教科等と連携していく必要がある。	日本全体、歴史、公民と学習 範囲が広がる中で社会の楽 しさを知り、学びに向かう必 要である。

## 3 授業改善のポイント (観点別)

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な地域での調査活動等を通して、地域の様子の移り変わりについて理解させる。また、地図帳などの具体的な資料を正確に読み取る技能を身に付けさせる。	資料から読み取ったことを根拠にして、考えたことや判断したことを、文章で記述したり、友達に説明したりして表現する活動を取り入れる。	学習問題の設定の仕方を指導したり、問題解決への見通しをもてるよう支援したりして、学習計画を立て、粘り強く調べ、まとめるという問題解決型の学習方法を身に付けられるようにする。

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
教科書の「ことば」の説明	情報量の多い資料の読み	より児童に身近な話題・

を必ず確認すること、地図帳、資料集をもとに調べる活動を行い、知識の定着をはかる。	取り、資料の比較などを毎時間授業に取り入れ、考えをもたせていくことが必要である。	場所から授業の前半を始め、関心を高めた上で調べる活動に入るようにする。
--	--	-------------------------------------